⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生事由及び収益化等の計画
平成18年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	330,059,049	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び平成18年度に支払った平成21年度以降の長期前払費用等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　1,294,202　人件費　328,764,847　合計　330,059,049 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において収益化する予定である。
	計	330,059,049	
平成19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	429,227,148	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び平成19年度に支払った平成21年度以降の長期前払費用等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　9,062,862　人件費　420,164,286　合計　429,227,148 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において収益化する予定である。
	計	429,227,148	
平成20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	1,919,591,062	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高は、人件費使用見込額及び自然災害等に備えた予備費見込額、履行期限未到来の工事等の契約済繰越、平成20年度効率化計画の徹底に伴う経費節減効果等である。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費　1,070,665,937　人件費　848,925,125　合計　1,919,591,062 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、事業費残については、翌事業年度、人件費残については翌々事業年度において収益化する予定である。
	計	1,919,591,062	